

国際交流（ラトビア・韓国の高校生が来訪）

7月22日（水）に東川町と姉妹都市提携にあるラトビアの国際交流員と女子高校生3名が来校し、地理の授業（国際交流）で同国の文化などを紹介してくれました。

彼女たちは日本語や日本文化を学ぶため1ヶ月ほど東川町に滞在することになっており、このたび機会があって本校への来校が実現しました。



地理の授業での国際交流ということもあり、ラトビアの気候や自然、文化や産業などを中心に英語で説明をしてくれました。

グループに分かれての交流会では本校生徒もラトビアには大変興味を持ち、英語を駆使しながら様々な質問や日本の紹介を積極的にしていました。

ラトビアの皆さんは少人数でしたが緊張することなく、すぐに本校生徒と打ち解け

温かなムードの中、互いに有意義な時間を過ごすことが出来ました。

昨年に引き続き、7月31日（水）に韓国水原（スオン）市の高校生約40名が来校し、交流会を持ちました。

到着後、本校ダンス部が歓迎のダンスを披露、その後両国の代表生徒が互いに相手国の言葉で挨拶を交わし、より親近感を持ちながら交流を深め合いました。



その後行われたグループワークでは、高校生活や将来の夢について活発な話し合いがなされたほか、韓国の教育事情についても理解を深めることが出来ました。

お別れには本校音楽部が美しい歌声を披露し、韓国の高校生を魅了しました。

国際交流はグローバル化の現代にあって、生徒の視野を広げる意味で大変重要な取組と考え、今後も推進していきます。